

# 病後児保育の充実を

## 保護者へ一層のPRを行う

河田 美穂 議員(公明党)

①病院、病後児保育の充実、PRの取り組み、体調不良児対応型保育の進捗状況はどうか。

保健福祉部長 広報紙への掲載、保護者への一層のPRを行う。また、体調不良児対応型は、次年度松井ヶ丘保育園に看護師を2名確保できる見込みである。

②保育所の保育時間を延長する考えは。

保健福祉部長 ファミリーサポートセンター事業も実施している。現在行う予定はない。

③市職員の持つておられる専門知識を市民の方に教える出前講座の充実、周知徹底をすべきである。市の考えは。

市長公室長 今後、所属と調整を進め、庁内体系化した形で再整備し、市民への周知を図りたい。

④窓口の一元化、案内窓口の設置など、市役所窓口サービスの充実及び改善について市の考えは。

市民部長 窓口一元化は、施設の改修、職員配置、プライバシーの問題等の課題が多く、現状では非常に難しい。

総務部長 案内室内も必要ではないかと認識している。

⑤地球温暖化防止のため、クールアース・デーなどの本市の取り組みは、どうなっているのか。

経済環境部長 ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンの普及拡大など、地球温暖化防止への気運が高まるような取り組みを進めていく。

⑥市営住宅の申し込み時における特定目的による優先入居の追加をすべきである。市の考えは。

建設部長 住宅困窮度



やすらぎ保育園の外観

# 耐震シェルター助成を さまざまな面を含めて研究

河本 隆志 議員(民主党)

①耐震診断制度を利用して、耐震改修までに至るケースは、わずか2件である。原因は費用負担がかさむことも考えられる。そこで、部分的に倒壊を防ぐ耐震シェルターに対する助成制度を設けてはどうか。

危機管理監 耐震シェルターは寝室など補強し、住宅が倒壊した場合、居住者の命を守る確率が高い。該当する住宅と助成内容を研究していきたい。

②ヒブフクチンは、麻疹・風疹の予防接種と同時接種できるワクチンであるが、任意接種のため費用負担が大きい。補助などの対応策は考えられないか。麻疹・風疹予防接種率が第3期において

保健福祉部長 ヒブフクチンの公費による助成は考えていない。定期予防接種としての位置づけを国に要望していきたい。

教育部長 第4期の対象者がさまざまであることから、教育委員会としての指導は困難だが、第3期の中学1年生のこの時期に、感染予防や自分の健康を守るための指導を十分に入れていきたい。



一部屋型シェルターの一例 (写真提供:株式会社一条工務店)

# 山間地域 救急体制の整備を急げ

## 天王・高船・打田 AED配備を検討

喜多 進 議員(緑政会)

①3川撤廃へ(天津神川)の進捗状況は。

建設部長 将来的に切り下げ改修も視野に入れ、今後とも府に要望する。

②天津神川の府道にかかる水路橋の安全性は。

建設部長 平成21年度は、天津神川の府道及びJR線の交差部の水路橋の補修工事が、京都府で実施される予定。

③天津神川と防賀川の交差部の改修は。

建設部長 具体的な改修方法について検討中。

④一休寺周辺の開発に對しての景観対策は。

建設部長 宅地の擁壁や今後建てられる建築物の外壁、屋根などの意匠について、一休寺からの眺望に配慮した計画になるように業者指導する。

⑤一休寺周辺の開発に對する水路問題は。

建設部長 石ノ前排水路整備工事と整合性を十分に勘案する中で、業者による改修工事を行った後に、造成工事に着手するように指導していく。



救急体制の整備が急がれる山間地域 (高船)

⑥手原川の通学路の安全対策の進捗状況は。

建設部長 長尾谷大穴線との交差部から、通称新墓橋までの間、約150mの道路の拡幅整備など恒久的な対策として検討し、平成21年度に用地測量を含む現地測量を実施する予定。

⑦消防団OBによる消防活動支援の充実。

消防長 消防支援隊の充実については、現在の57名をさらに充実するため、約90名の増員を図る。

⑧南部地域に消防分署の設置を。特に、山間部における救急車の配置は、消防長 救命率向上の観点からも極めて重要な課題と認識している。応急的な措置として、天王・高船・打田地区へのAED設置について検討する。

⑨山手幹線(同志社山手)精華北間の進捗状況は。

建設部長 本年2月から、事業化準備のための基準点の測量に、京都府が着手し、平成28年度の完成予定である。

# 水取 早期完成を

## 京都府に働きかけていく

奥西 伊佐男 議員(一新会)

①「水取バイパス」開通に向けての現状と本市の姿勢を問う。本整備事業は着工から18年、いまだに開通に至っていない。地区画整理事業」に関して課題対策と、51街区への公共施設建設に向けての具体的な基本構想と今後の考えを問う。

建設部長 南部地域の核拠点として、本市の総合計画に基づき整備事業を進めている。51街区については、南部地域全体の公共施設のあり方について、庁内で検討を重ねており、施設整備方針が決定した時点で市有地分譲を有効活用し、この中に公共施設の建設ができればと思っている。

③「京田辺市バス交通等検討委員会」の現状と今後の本市の考えを問う。安心まちづくり室長 バス検討委員会から提言を受け、十分その趣旨を尊重し、できるだけ早い

④職員研修の一環として実施した、庁舎玄関の窓口案内に、次回実施の計画と概要を問う。総務部長 次回は管理職を含む本庁勤務者約250名を対象に、5月に実施する予定。

⑤法人税を中心とした新年度減収見込みに對する本市の財政対策は。

総務部長 世界的経済不況で、本市においても法人市民税を始め税収の大幅減収が予想され、市税等収納率向上対策推進本部を中心に、長期的視野に立った取り組みのほか、遊休資産の売却等の財源対策やゼロ予算事業推進に総合的に取り組む。



開通が予定される府道生駒井手線水取バイパス